

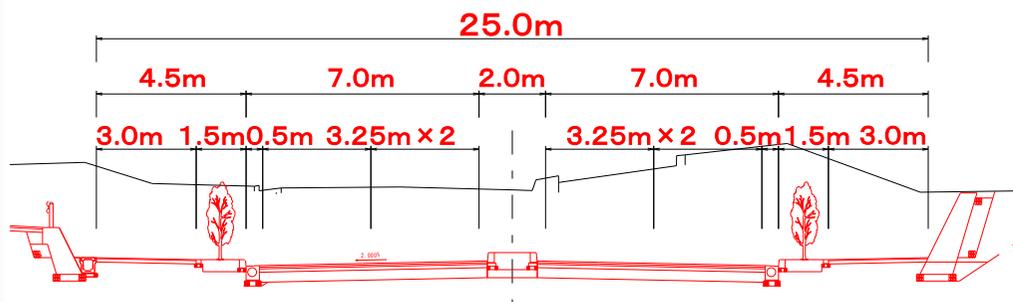
再評価【番号3】

主要地方道鳴門公園線
土佐泊浦～三ツ石工区

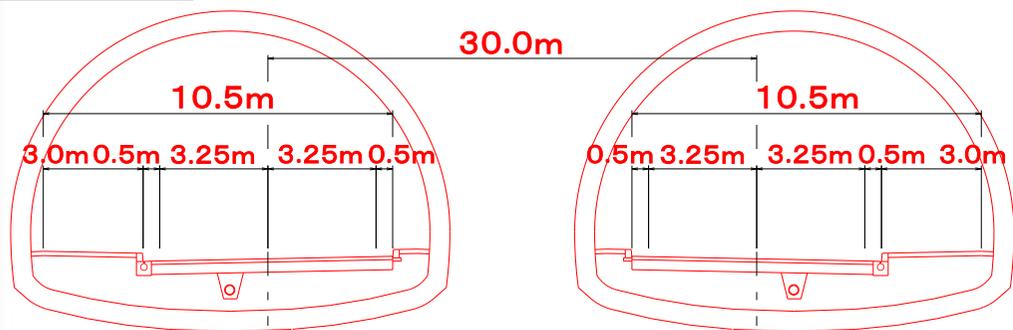
1. 事業概要

断面図

一般部



トンネル部



主要地方道 鳴門公園線
土佐泊浦～三ツ石工区

延長L=1.6km

鳴門北IC

凡例

計画ルート ■■■■■■
現道ルート —————

位置図



鳴門IC

神戸淡路鳴門自動車道

鳴門市

至 高松市

至 徳島市

2. 現道の道路交通上の課題

- ・神戸鳴門自動車道鳴門北ICから四国の大動脈である国道11号へのアクセス性の改善が必要。
- ・観光シーズンや朝夕の通勤時などでは渋滞が発生するなど、交通混雑が生じている。



小鳴門橋



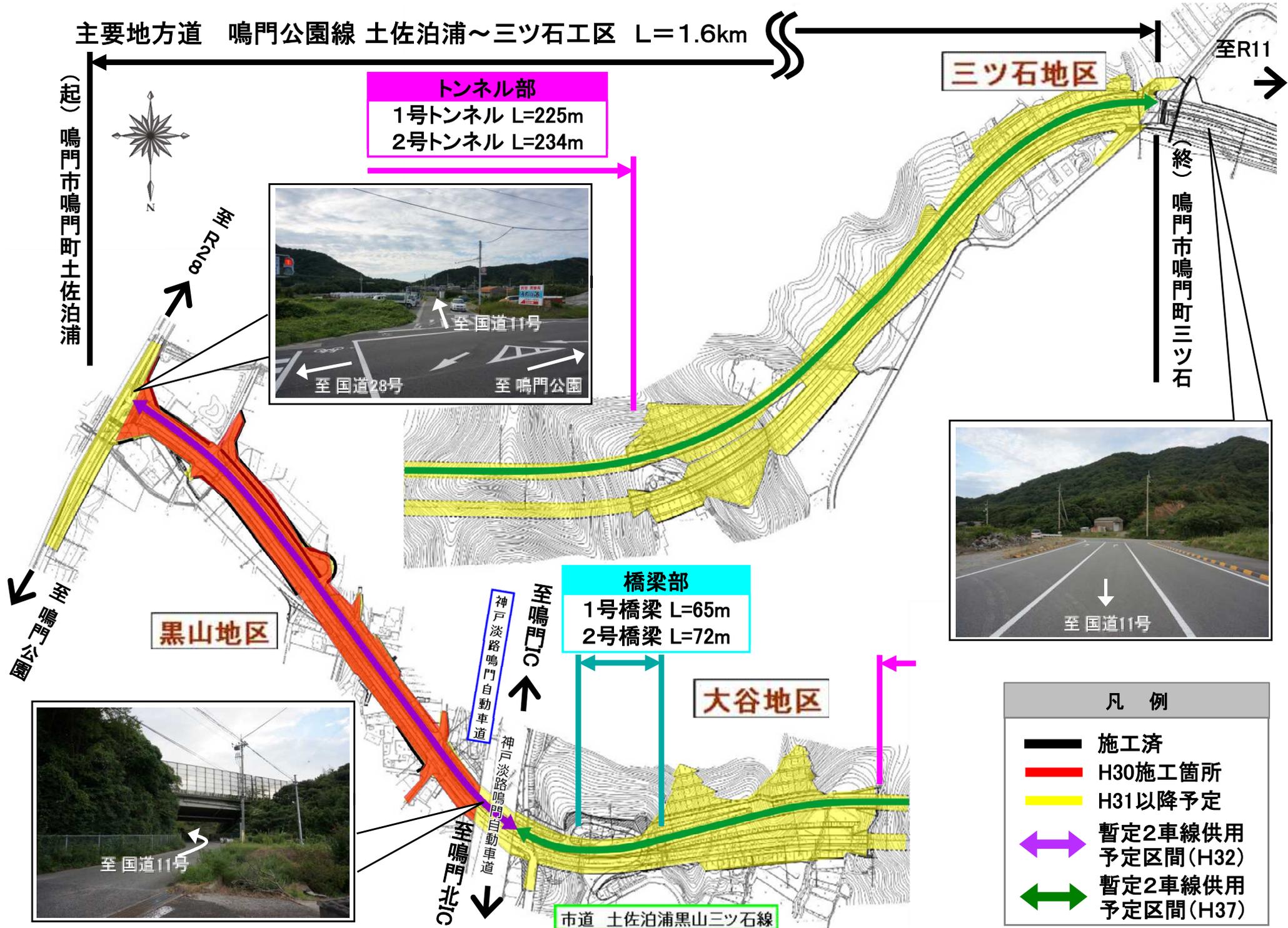
小鳴門トンネル



凡 例			
学 校	施 設	施 設	○
医 療	施 設	施 設	○
観 光	施 設	等	●
そ の 他	施 設	施 設	○



3. 事業の進捗状況



4. 道路整備による多様な効果①【貨幣価値換算可能な整備効果】

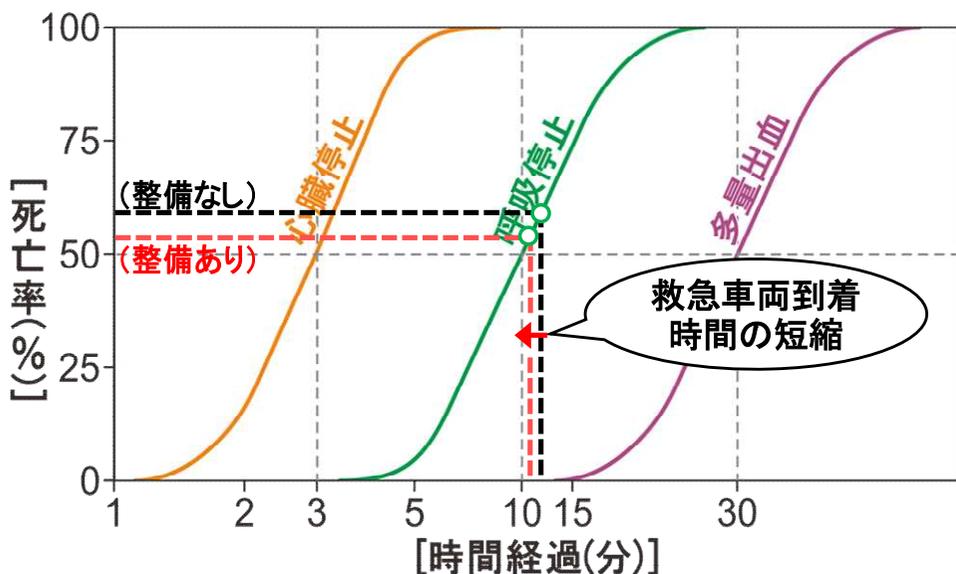
◎その他の便益

医療

■ 救急医療へのアクセス向上

- ・ 鳴門市消防本部から集落までの救急車両到達時間が短縮されることにより、救命率の向上が見込まれる

【カーラーの救命曲線】



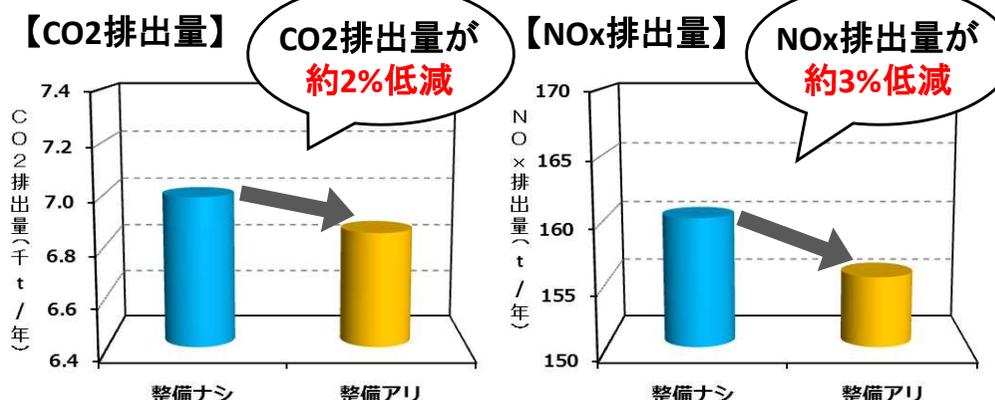
- ・ 呼吸停止後の死亡率が約6%低減

救命率の向上効果 : 1.0億円

環境

■ 地球環境の保全効果

- ・ CO₂、NO_xの排出量が抑制されることにより、大気汚染・温暖化防止効果が見込まれる



大気汚染・温暖化防止効果: 1.4億円

■ 騒音低減効果

- ・ 現道の通過交通がバイパスに転換することにより、現道沿いの騒音低減効果が見込まれる。

騒音低減効果: 3.7億円

5. 道路整備による多様な効果②【防災・減災】

【防災・減災】災害に強い道路ネットワークの構築

①緊急輸送道路ネットワークの強化

- ・第1次緊急輸送道路である神戸淡路鳴門自動車道を補完し緊急輸送道路ネットワークの多重性を確保
- ・物資集積拠点、防災ヘリポートなど各防災拠点へのアクセス性が強化

②避難路としての活用

- ・津波などからの新たな避難路として活用することで人的被害の軽減に期待

地域防災力の向上



凡例	
事業箇所	■■■■
緊急輸送道路	====
緊急輸送道路(予定)	----
行政機関, 病院	●
その他防災拠点	●
避難場所	🚶
防災ヘリポート	🚁

8. 事業評価結果

貨幣換算可能な整備効果

- ・ 走行時間短縮便益
 - ・ 走行経費減少便益
 - ・ 交通事故減少便益
- 計 **80.4億円**
(現在価値化後)



その他の便益

医療

- ・ 救命率の向上効果 1.0億円

環境

- ・ 大気汚染や温暖化防止効果 1.4億円
- ・ 騒音低減効果 3.7億円

計 **6.1億円**
(現在価値化後)

※費用C=36.3億円 (現在価値化後)

$$B/C = 2.2$$

(参考) その他の便益を含む $B/C = 2.4$

貨幣価値に表れない整備効果

防災・減災

- 緊急輸送道路ネットワークの強化
⇒ 1次緊急輸送道路の多重性確保
- 災害拠点、避難場所へのアクセス強化
⇒ 地域防災力が向上

観光産業振興

- 魅力ある観光地域の形成
⇒ 観光産業の活性化

産業振興

- 鳴門複合工業団地などの利便性向上
⇒ 工業の活性化
- 物流の効率化
⇒ 輸送の効率化

■ 今後の対応方針(案)

事業継続